

○ 2017. 8. 4 道路の舗装に関する技術講演会を開催します

一般財団法人都市技術センターでは、関西道路研究会と道路の舗装に関する技術講演会を共催いたします。

本講演会は、関西道路研究会会員以外の方もご参加いただけますので、道路の舗装にご興味のあるかたの申込みをお待ちしております。

記

1. 日 時：平成 29 年 9 月 22 日(金) 13:30～16:55 [開場 13:10]
2. 場 所：大阪市立大学文化交流センター 第 1 研修室(ホール)
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 (大阪駅前第 2 ビル 6 階)
3. 主 催： 関西道路研究会 舗装調査研究委員会
4. 共 催： 一般財団法人 都市技術センター
5. 講演内容：
 - (1) 「移動式たわみ測定装置 (MWD) の開発と舗装の健全性評価」
国立研究開発法人 土木研究所 道路技術研究グループ舗装チーム
研究員 若林 由弥 氏
舗装の構造評価にはFWDによるたわみ評価が用いられているが、測定時間や交通規制の観点から広い範囲で評価する事は難しい。本発表では、土木研究所が開発した移動式たわみ測定装置 (MWD) について、開発経緯や実用化への取り組みについて紹介する。
 - (2) 「コンクリート舗装の現状と展望・早期交通開放型コンクリート舗装「1DAY PAVE」」
住友大阪セメント株式会社 セメント・コンクリート研究所
環境コンクリート研究グループ グループリーダー 安久 憲一 氏
コンクリート舗装を取り巻く現状、コンクリート舗装の長所、種類、さらに近年、セメント協会を中心に普及活動を推進している早期交通開放型コンクリート舗装「1DAY PAVE」について紹介する。
 - (3) 「インターロッキングブロック舗装40年の歩み」
太平洋プレコン工業株式会社 開発部 副部長 柳沼 宏始 氏
日本に導入されて40年以上経過したILブロック舗装について、ブロックの形状、表面仕上げ、品種をはじめ、設計、施工方法の変遷やこれに伴い開発された技術や工法、および最近の技術開発と施工事例を紹介。
 - (4) 「路面下に発生する空洞の発生状況の分析と考察」
ジオ・サーチ株式会社 大阪事務所 事務所長 秋元 章 氏
近年、全国の国や自治体で路面下空洞調査を実施する事例が増えている。そこで、それらの調査で得られた結果を集約し、空洞の発生状況の分析結果を説明するとともに、最新の空洞調査技術や課題について紹介する。
5. 参加費：無料

6. 定員 : 120名 (先着順により定員になり次第締め切らせていただきます)
7. 申込み方法 : 別紙「申込み用紙」にご記入の上、平成29年 9月 8日(金)までに
Fax または メール にて申込み用紙 (【Word版】、【PDF版】) を
お送りください。

8. 問合せ先

一般財団法人都市技術センター 田中、竹内 (TEL 06-4963-2094)

9. 申込み窓口

関西道路研究会舗装調査研究委員会事務局
東亜道路工業株式会社 関西支社 技術部 中西
〒556-0016 大阪市浪速区元町1-4-17 (TEL 06-6649-2102)

申込み先 : Fax 06-6649-2109 E-mail : f_nakanishi@toadoro.co.jp

10. 参考ページ

関西道路研究会ホームページ URL : <http://kandoken.jp/>

11. その他

参加(受講)の可否については、受講していただけない場合にのみ、申込み用紙到着後1週間以内に事務局からご連絡いたします。

当日の参加証等は発行いたしませんので、事務局から連絡がない場合は、当日会場へそのままお越しください。

なお、本講演会は、土木学会CPDプログラムの認定を受けております。

地盤工学会、全国土木施工管理技士会連合会、農業農村工学会へのCPD記録申請にあたり受講証明が必要な場合は、別紙の受講証明書(【Word版】、【PDF版】)に必要事項をご記入の上、当日、講演会開始前に受付に提出してください。講演会終了後、受講証明印押印の上、返却します。

講演場所 :

大阪市立大学 文化交流センター 第1研修室(ホール)
大阪駅前第2ビル 6階(大阪市北区梅田 1-2-2-600)



- JR東西線「北新地駅」下車、徒歩約3分
JR大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車
徒歩約10分
地下鉄四つ橋線「西梅田駅」下車
徒歩約5分
地下鉄谷町線「東梅田駅」下車
徒歩約10分
地下鉄御堂筋線「梅田駅」下車
徒歩約10分
阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約10分
阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約15分